

# 実践のまとめ

## 高学年ブロック 道徳

主題名

「引きつがれてきたものを大切に」

資料名

「龍勢ロケット発しゃ」



手立て1

伝統や文化を身近に感じられる出会い方の工夫

☆1 季節ごとの行事や、日本の文化に関するコーナーを設けたり、資料との出会い方を工夫したりして、伝統や文化に関する興味・関心を高めるようにする。



埼玉の祭りの音です。  
何をやっているのか  
想像してみよう！

にぎやか

川越まつり？

花火 下から上にあがる  
ものです。

何十年も続けている  
人もいたって。

すごい！  
真剣だな。



成果と課題

- 子どもたちにとって「伝統」から思い浮かぶものを事前に調査し、掲示することで、身近な伝統に気付きやすい環境を整えられた。
- 導入で、「龍勢ロケット」の音声のみを流し、子どもたちに何の音が想像させたり、「龍勢ロケット」のビデオを見せたりすることで、子どもたちの興味により湧くような資料との出会い方ができた。
- 見せたい場面を強調するように編集し、時間短縮できればよかった。

手立て2

伝統や文化の理解を深める活動の工夫

☆2 自分たちが住んでいる地域で活躍している「原山おはやし会」を取り上げて、話し合うことにより、より身近に感じられるようにする。



地域の人と交流ができ、町ですれ違ってもあいさつをしてくれます。みんなに喜んでもらえると、嬉しいです。何十年も受け継いでいき、目標は、無形文化財に認定されることです。

2つの話は、やっていることは違うけど、思いの部分で同じことがあるよね。どんな思いか？

祭りが好き

楽しい

みんなを喜ばせたい

地域が好き

うけつぎたい

成果と課題

- 「龍勢ロケット」だけでなく、「原山おはやし会」も取り上げ、話し合ったことで、受け継いでいく人たちがより身近に感じられ、その思いについて深く考えることができた。
- 2つの話の共通点を図式化して考えたことで、共通点を見つけやすく、たくさん人の思いがつながっているということが分かりやすくなった。
- 受け継がれてきたものに対する子どもの考えが、さらに深まるように、教師がより練られた発問を考え、伝えられるようにしていきたい。

手立て3

伝統や文化に親しむ活動の工夫

☆3 受け継がれてきたものに対して振り返り、感じたことを児童の言葉で表現することにより、伝統や文化についての考えが深まっていくようにする。

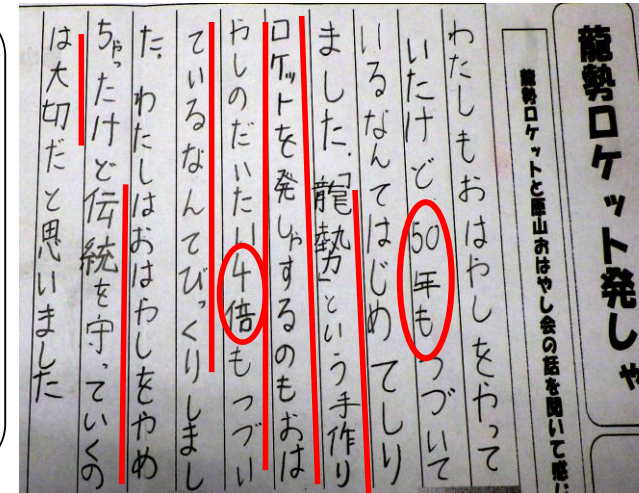


今日の2つの話を聞いて、  
どう思った？

僕が、受け継いでいきたいのは、日本語です。意味が変わったりすると、困る人が出てくるので、正しい日本語を使いたいです。



伝統文化に興味をもって、チャレンジしていきたい。習っている書道を頑張りたい。時には、楽しいので、けん玉、お手玉などの昔遊びでも遊びたい。



成果と課題

- 2つの話の共通点をみんなで見つけてから、感じたことを自分の言葉で表現させた。感想の中では、多くの子どもたちが、「みんな協力していた。」「笑顔が同じだ。」「守っていきたい。」「伝統に興味をもっていきたい。」と書いていた。
- 感想だけでなく、自分の思いを深めて書くまでに時間がかかったので、書く時間を十分確保したい。

指導講評 さいたま市教育委員会指導1課 主任指導主事兼研究推進・振興係長 中野 緑先生より

- 3つの柱(柱1おじいちゃん、柱2吉田地区の人々、柱3泰雄自身)を立て、それぞれの視点から伝統を大切に守ろうとする思いを多面的に考えることができた。
- 「龍勢ロケット」と「原山おはやし会」を取り上げ、2つの共通点について図式化して考えたことにより、たくさん人のいろいろな思いが積み重なって、伝統になっていくということが強調されてよかった。
- 子どもたちにとって、身近な「原山おはやし会」を取り上げたことで、子どもたちが伝統を引き継ぐことについてより自分ごととして考えやすくなった。
- 「誰が、どんな思いで受け継いできたのか考えましょう。」などという1時間を貫く問題意識を、導入の部分で意識づけできたからよかった。
- 時間の配分を工夫することにより、子どもたちがペアや小グループでそれぞれの考えを直接ぶつけあう活動を取り入れると、さらに話し合いが深まったのではないかと。

# 実践指導案

## 高学年ブロック 道徳

主題名

「引きつがれてきたものを大切に」

資料名

「龍勢ロケット発しゃ」



平成27年7月15日(水)

第5校時 5年2組教室

授業者 辻 建

1 主題名 引きつがれてきたものを大切に 4-(7)

2 資料名 龍勢ロケット発しゃ〈出典〉みんなのどうとく 埼玉県版

(道徳教育用郷土資料集平成7年3月) 学研

### 3 主題設定の理由

#### (1) ねらいとする価値について

本主題は、第5学年及び第6学年の内容項目4-(7)「郷土や我が国の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、郷土や国を愛する心をもつ。」ことをねらいとしている。

郷土に伝わる伝統や文化に触れ、興味・関心をもつことが郷土を知ることであり、国を愛することにもつながっていくものだと考える。したがって、自分の住んでいる地域の古くから受け継がれてきたもののすばらしさや、先人の努力を知ることにより、地域を見つめ、地域のよさに気付く機会をつくり、地域を愛そうとする心情を育てていくことが大切であると考え。そして、本時の授業では、自分たちの地域にいる伝統や文化を大切に受け継いでいる人々の努力に気付かせ、郷土への誇りをもち、継承しようとする心情を育みたい。

#### (2) 児童の実態について

今までに児童は、伝統や文化にかかわる機会である「きらめきジャパネスク」で和楽器の演奏や日本舞踊、学区内で伝統を受け継ぎ継承していく「原山おはやし会」の笛や太鼓の演奏会、室町時代に芸能として成立した「能」などを実際に体験し、日本に昔から伝わるもののよさについて触れることができた。

本学級の児童の伝統や文化に関する実態を把握するために、アンケートを行った。結果は次の通りである。

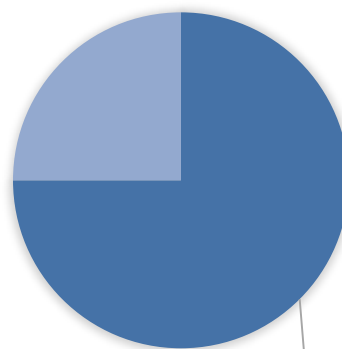
(アンケート実施：平成27年6月 対象：5年2組児童40名)

#### ① 5年2組が連想する 日本の伝統や文化

- ・和紙 ・和食 ・お正月
- ・書道 ・茶道 ・もちつき
- ・おひなさま ・こいのぼり
- ・礼儀 ・夏祭り
- ・きらめきジャパネスク  
(能・たいこ・おはやし) など

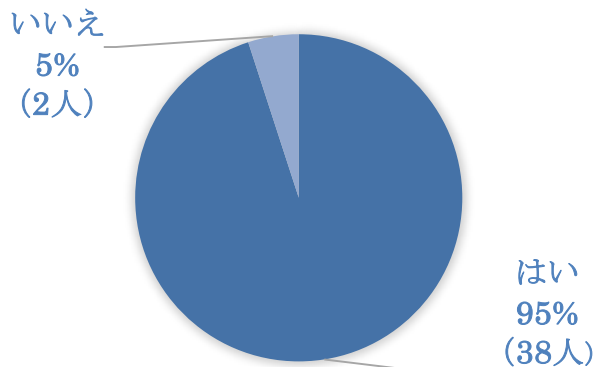
#### ②さいたま市内で行われている お祭りに参加していますか。

いいえ  
25%  
(10人)

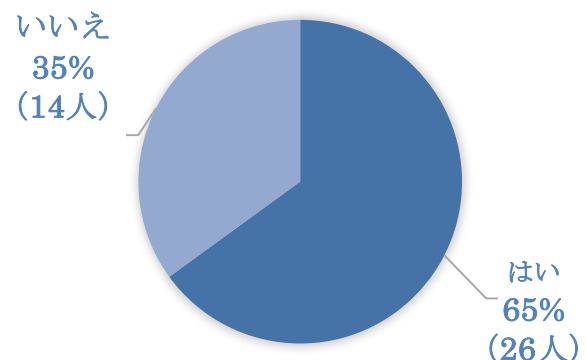


はい  
75%  
(30人)

③日本の伝統や文化がこれからも長く残ってほしいですか。



④日本の伝統や文化を1つでも自分が受け継いでいきたいですか。



道徳アンケートから、日本の伝統や文化に対する興味・関心が高いことがわかった。①の質問から、昔からの伝承遊びや、食文化、お雛様やこいのぼりなどの季節的行事に関心をもっている児童がいることがわかった。また、昨年度に行った『きらめきジャパネスク』の中から「和楽器の演奏や太鼓の音が心に残っている」や「おじぎの仕方がわかり、もっと日本的なことを学びたい」という回答も挙げられた。

②の質問から、学区内で夏に行われている八雲神社の祭りや稲荷神社の祭りに参加している。また、さいたま市内の十二日まちに参加している児童も多いことがわかった。また、お祭りで楽しみにしていることは、「友達と一緒にいくこと」「家族と一緒にいくこと」「にぎやかで楽しい雰囲気」「普段学校で会えない友達と会えること」などが挙げられた。しかし、お祭りを行っている人々の思いや込められた思いについてまで感じている児童は少なかった。③④の質問から、「日本の伝統や文化は大切だ」と感じている児童は多かった。しかし、受け継いでいくという質問に対しては、「伝統や文化は残ってほしいが、受け継ぐのは難しそう」「他にもやりたいことがある」「興味がない」などの回答が挙げられた。これらの実態を踏まえて、授業では、受け継いできた人達の思いや願いについての考えを深めさせたい。

### (3) 資料について

本資料は、埼玉県秩父の吉田地区で行われている伝統行事の「龍勢まつり」で、打ち上げられる「龍勢」と呼ばれるロケット花火の話である。町の人々が協力して「龍勢」を作っていく過程や、発射後の人々の気持ちに迫ることにより、伝統を大切に守っていききたいという気持ちに気付かせる。そして、自分たちの地域にある『原山おはやし会』と重ね合わせて考えさせていきたい。

導入では、児童がこれまでに体験してきている『きらめきジャパネスク』の中から『原山おはやし会』の演奏を取り上げ、本教材に入る。そして、原山地域の中にも昔から受け継がれているものがあることにも意識付けをしていく。

展開前段では、資料や「龍勢ロケット」に関する映像や記事から、泰雄の気持ちについて考え

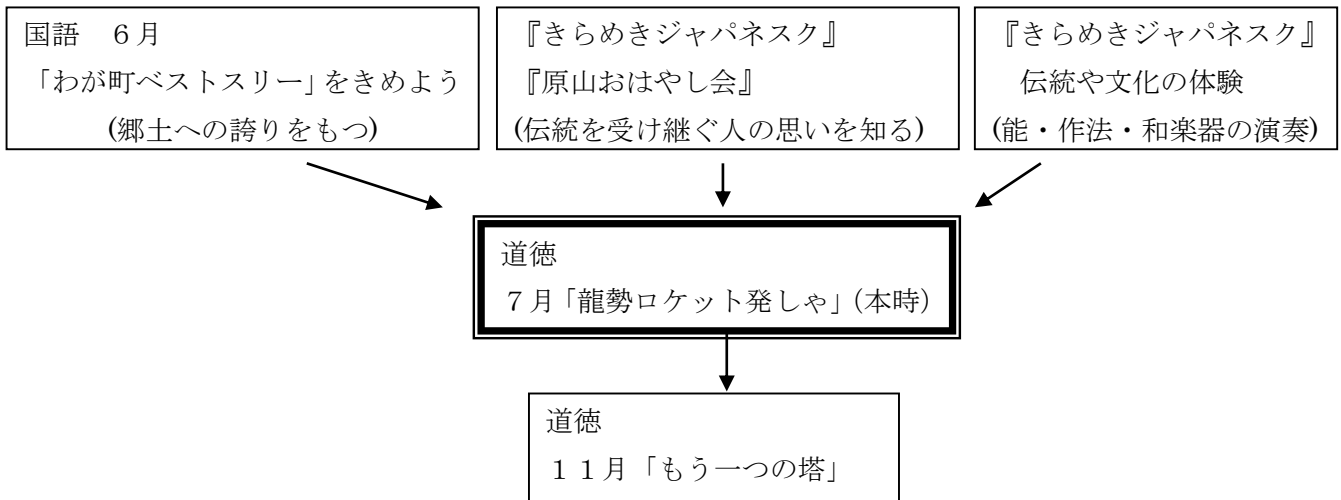
させる。そして、「龍勢ロケット」作りにかかわる人の思いや、吉田地区の人々の気持ちについて考えさせ、「龍勢」が人々の心をつなぐ行事であることや伝統を受け継いでいくよさについて共感させたい。

展開後段では、自分たちの地域で活躍している『原山おはやし会』の人から活動や地域に対する思いを聞き、これから自分は、日本の伝統や文化にどのように関わっていくかを考える。

終末では、「龍勢ロケット」やおはやしに参加している人の映像を観て、伝統や文化を継承している人々の地域に対する深い愛情を感じ取らせるようにしたい。

#### 4 研究主題との関わり

##### (1) 教科・行事との関連



##### (2) 研究主題にせまる手立て

手立て① 伝統や文化を身近に感じられる出会い方の工夫

☆1 季節ごとの行事や、日本の文化に関するコーナーを設けたり、資料との出会い方を工夫したりして、伝統や文化に関する興味・関心を高めるようにする。

手立て② 伝統や文化の理解を深める活動の工夫

☆2 自分たちが住んでいる地域で活躍している、『原山おはやし会』を取り上げ話し合うことにより、より身近に感じられるようにする。

手立て③ 伝統や文化に親しむ活動の工夫

☆3 受け継がれてきたものに対して振り返り、児童の言葉で表現することにより、伝統や文化についての考えが深まっていくようにする。

#### 5 本時の学習指導

##### (1)ねらい

郷土や我が国の伝統を受け継いできた人々の思いを知り、自分たちの郷土を愛する心情を育てる。

(2)事前指導

事前に道徳的価値にかかわるアンケートを実施して、児童の実態を把握する。

(3)展開

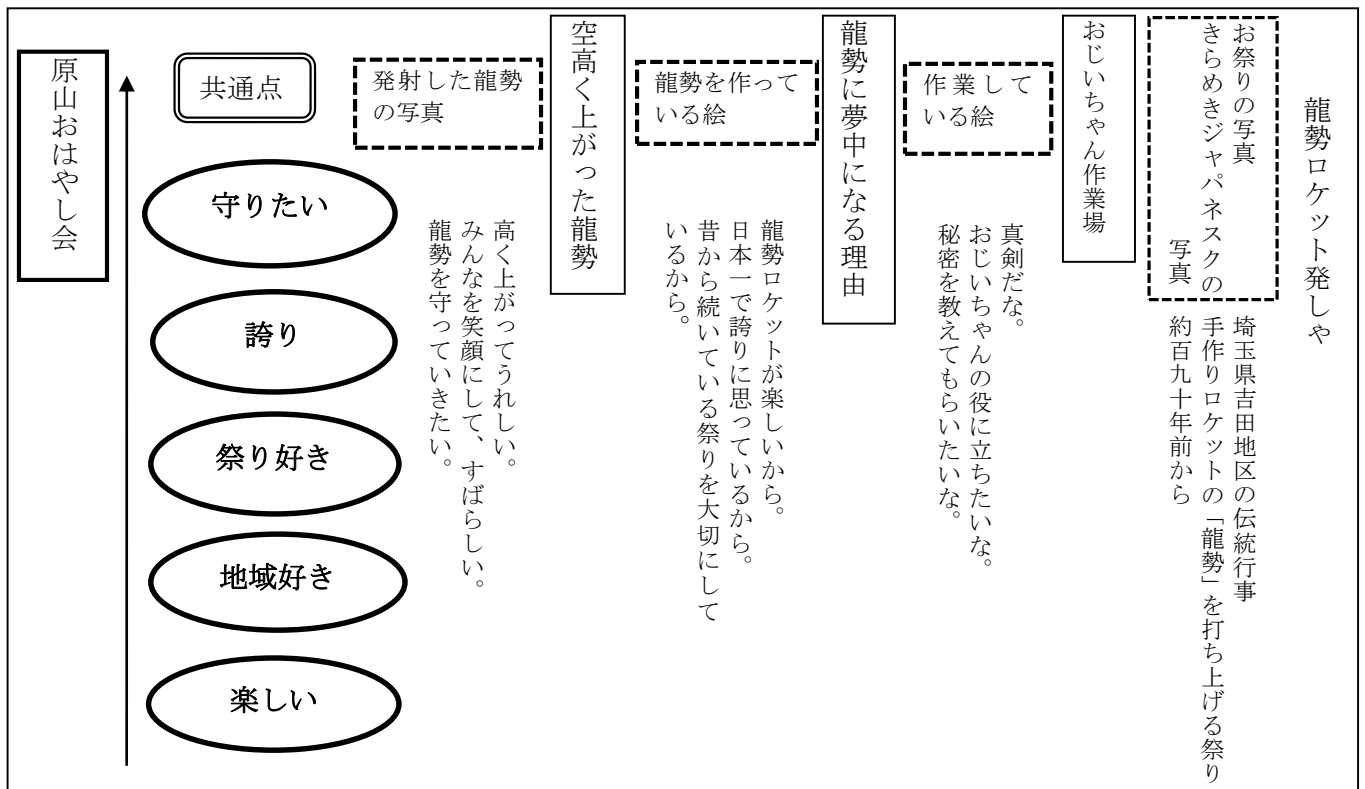
段階	主な学習活動	○主な発問 ・予想される児童の反応	●指導上の留意点 ◇評価 ☆手立て	時間	
導入	1 アンケートから地域のお祭りや、『きらめきジャパネスク』を紹介する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休みのお祭りが楽しみだな。</li> <li>・『きらめきジャパネスク』で聴いた太鼓の音が心に残ったな。</li> <li>・日本の文化はいいな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●1映像を見せて、伝統や文化についての思いを想起させる。</li> </ul>	5	
展開前段	2 「龍勢ロケット」の写真や映像から資料の概要を知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「龍勢ロケット」ってすごいな。</li> <li>・手作りでおもしろそうだな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「龍勢」の写真や映像を見せ、イメージをもたせる。</li> </ul>	20	
	3 資料の範読を聞く。 4 泰雄の気持ちについて話し合う。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           登場人物 ・泰雄(主人公) ・おじいちゃん            条件・状況 ・埼玉県吉田地区の伝統行事            ・手作りのロケット花火を打ち上げる祭り            ・お祝い事や、豊作祈願として始まった。         </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●泰雄の気持ちになって資料を聞くように伝える。</li> </ul>		
	(1)泰雄はどんな気持ちで、おじいちゃんの作業を手伝っているのだろう。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・汗をかくまで一生懸命頑張っているな。</li> <li>・おじいちゃんの役に立ちたい。</li> <li>・190年前から伝わっている秘密を知りたいな。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●泰雄が「龍勢ロケット」に興味をもっていることを押さえる。</li> </ul>
	(2)泰雄は吉田地区の人々が、これほどまでに「龍勢ロケット」に夢中になる魅力を何だと考えたのでしょうか。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「龍勢」を飛ばすのが、楽しから。</li> <li>・「龍勢」が高く上がるのが、日本で誇りに思っているから。</li> <li>・190年も続いている祭りを大切にしたいから。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●「龍勢」が多くの人によって、守り継がれてきた理由について考えさせる。</li> <li>●短い言葉で様々な視点が出るように、ワークシートを工夫する。</li> <li>◇吉田地区の人々が「龍勢」に夢中になる理由を考えることができたか。</li> </ul>
	(3)泰雄は青空に吸い込まれていく「龍勢」を、どんな気持ちで見つめていたのだろう。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「龍勢」が高く上がって嬉しい。</li> <li>・おじいちゃんや吉田地区の人々は、みんなを笑顔にして、すばらしい。</li> <li>・ぼくも「龍勢」を飛ばして、伝統を守っていききたい。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●「龍勢」が町の人々、見物客をつなぐすばらしい祭りであることを捉えさせる。</li> </ul>
展開後段	5 『原山おはやし会』の話聞き、吉田地区との共通点を話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○2つの話からどんなことに気付きましたか。</li> <li>・地域が好きなんだね。</li> <li>・地域を盛り上げたい気持ちは同じだね。</li> <li>・『原山おはやし会』の人達は、地域のつながりを大切に思い、守り続けているんだね。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆2『原山おはやし会』を取り上げ、話し合うことにより、より身近に感じられるようにする。</li> <li>●吉田地区と原山に共通する地域に対する思いを中心に取り上げ、共感させていく。</li> </ul>	10	

	6	2つの話から、感じたことを書く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の伝統や文化を大切にしている人たちの気持ちが分かった。日本の伝統や文化を他にも知りたくなった。</li> <li>地域の祭りをなくさないようにしていきたいな。</li> <li>地域の行事に少しずつ参加してみたいな。</li> </ul>	<p>☆3受け継がれてきたものに対して、振り返り、児童の言葉で表現することにより、伝統や文化についての考えが深まっていくようにする。</p> <p>◇郷土の伝統や文化に目を向けようとする気持ちが生まれたか。</p>	5
終末	7	「龍勢ロケット」や『原山おはやし会』の写真を見る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>みんな笑顔で楽しそうだね。</li> <li>いつまでも続くといいね。</li> </ul>	●参加している人たちの笑顔を中心に流す。	5

## 6 事後指導の工夫

○「私たちの道徳」P165の「郷土や国を愛する心を」も意識して考えさせる。

## 7 板書計画





## 8 資料分析

